

第6回海外派遣勤務者の 職業と生活に関する調査結果

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

は し が き

過去 10 年の日本企業の海外直接投資動向を対前年比でみると、1997 年度までは継続的に増加してきたが、1998 年度には前年度実績を下回り、翌 1999 年度は大きく伸張、2000 年度、2001 年度に再び低迷、2002 年度は 10.7%の伸びを示し、2003、2004 年度には前年度実績を下回っている。直接投資動向を地域別にみると、1990 年代は対アメリカ投資が大きなウエイトを占めていたが、2000 年代に入ってアメリカの割合が下がり、相対的にヨーロッパ、アジアの割合が大きくなっている。国別にみると、2000 年代にはオランダ、中国への投資増加が目立つ。業種別にみると、対アジア投資は製造業が非製造業の 2 倍に達する一方、対ヨーロッパ投資は商業、金融・保険を中心に非製造業が製造業の 2 倍近くに達する。対アメリカ投資は製造業が非製造業を上回っているが、相対的に均衡している。

このように投資動向は曲折しているものの、グローバル化が一層進展する中で日本企業の海外における事業展開は今後とも緩やかではあれ拡大傾向は続くと考えられるが、企業は国内と同様に海外事業についてもコスト削減努力を続けている。この結果、海外へ派遣される日本人従業員の数は横這いから、減少傾向に転じるとともに、平均的な派遣期間が長くなっている。このため海外派遣勤務者が派遣先国で直面する職業・生活上の諸問題も大きな変化の兆しをみせていると述べている。

本調査は、日本人海外派遣勤務者の職業と生活の実態を把握するために 1989 年から継続的に実施しているもので、本報告書は 2004 年 10 月に実施した第 6 回調査の結果をとりまとめたものである。

今回の調査では、従来の「派遣者調査」に加えて、派遣者が赴任地に帯同している配偶者を対象とした「配偶者調査」を初めて実施した。これは、海外派遣勤務者が派遣先で職業生活を営む上で帯同家族の問題は極めて重要であり、海外派遣勤務者の職業と生活の実態をより正確に把握するには配偶者の問題は避けて通れないとの問題意識に基づく。

調査の実施に当たっては、各国の日本人商工会議所、日本人会に多大なご協力を願い、世界 51 カ国・地域の海外派遣勤務者の皆様から回答をいただいた。調査結果の公表に当たって、これらの方々をはじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

本報告書が、日系企業の円滑な事業活動の一助となり、関係各方面で広く活用いただければ幸いである。

2005 年 9 月

独立行政法人労働政策研究・研修機構
理事長 小 野 旭

目 次

はしがき

調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査の時期	2
5. 回答状況	2
序章 調査結果の特徴と概要	7
第 I 部 海外派遣勤務者についての調査結果	
第 1 章 海外派遣前の状況、研修の受講、および言語能力	33
1. 海外派遣前の状況	33
2. 配偶者帯同に関する会社の方針	42
3. 海外派遣者と労使協議	43
4. 海外赴任に際しての事前研修	44
5. 勤務地における言語能力	65
6. 小括	67
第 2 章 赴任前および現在の職務と職位	72
1. 海外赴任前の日本国内での職務	72
2. 海外赴任中・現在の職務とその変化	75
3. 赴任前と現在の職位とその変化	81
4. 小括	85
第 3 章 現地での労働時間と処遇	88
1. 海外派遣者の労働時間と残業・休日出勤の理由	88
2. 給与	91
3. 小括	95
第 4 章 海外派遣者の仕事に関する意識特性	97
1. はじめに	97
2. 仕事の満足度	97
3. 仕事や生活への適応	99
4. 仕事上の成果	100
5. 小括	102
第 5 章 海外派遣勤務者の生活に関する意識特性	103

1. 海外派遣者のストレスの状況	103
2. 現地生活への満足度	106
3. 小括	111
第6章 海外派遣者への支援制度と現地での生活環境	112
1. 会社による支援制度・福祉制度	112
2. 赴任地での通勤について	116
3. 現地生活でのトラブル	117
4. 学齢期にある子供の帯同	120
5. 小括	122
第7章 帰任後の仕事や生活、海外勤務の再希望	124
1. 帰任後の仕事上の不安	124
2. 帰任後の生活上の不安	126
3. 海外勤務の再希望	129
4. 小括	132
第8章 海外派遣勤務者の現勤務先企業ならびに派遣元企業の特徴	134
1. 現勤務先企業の概要	134
2. 派遣元企業の概要	142
3. 小括	144
第9章 調査対象者の特徴：属性、海外勤務経験、および家族状況	146
1. 調査対象者の個人属性	146
2. 現勤務先企業での状況	150
3. これまでの海外勤務経験	153
4. 現地での家族状況	157
5. 小括	161
第10章 海外派遣者（本人）自由記入欄の分析	163
1. 赴任前の事前研修・派遣期間・ローテーション	163
2. 処遇、賃金	164
3. 現地勤務の実態	165
4. 日本本社と現地経営	166
5. 海外派遣にともなう問題 — 単身赴任と親の介護	167
6. 赴任地での生活問題	168
7. 子弟の教育問題	170
8. 帰任問題	172
9. 資産形成・その他	173
10. 小括	173

第Ⅱ部 海外派遣者の配偶者についての調査結果

第1章 配偶者の海外派遣への同行希望の有無、研修の受講、および言語能力 …	176
1. 海外派遣への同行希望の有無 ……………	176
2. 配偶者同行に関する会社の方針 ……………	178
3. 海外赴任に際しての事前研修 ……………	179
4. 勤務地における言語能力 ……………	184
5. 小括 ……………	186
第2章 配偶者のキャリア ……………	189
1. 赴任前の配偶者の就労状況 ……………	189
2. 仕事を辞めたことに対する派遣元企業からの補填・サポート ……………	191
3. 赴任地での配偶者の就労状況 ……………	191
4. 日本帰国後の就労希望 ……………	192
5. 配偶者の日本帰国後の生活上の不安 ……………	196
6. 小括 ……………	195
第3章 配偶者の生活に関する意識特性 ……………	197
1. はじめに ……………	197
2. 現地生活の満足度 ……………	197
3. 現地生活への適応度 ……………	198
4. 小括 ……………	199
第4章 調査対象者の特徴 ……………	200
1. 調査対象者の個人属性 ……………	200
2. 小括 ……………	204
第5章 海外派遣者配偶者の自由記入欄の分析 ……………	205
1. はじめに ……………	205
2. 事前研修 ……………	205
3. 処遇・会社のサポート等 ……………	206
4. 現地生活 ……………	207
5. 残留家族と親の介護 ……………	210
6. 子弟の教育 ……………	211
7. 帰任問題 ……………	212
8. 小括 ……………	213
付属	
調査票「第6回海外派遣勤務者の職業と生活に関する調査」 ……………	215
調査票「海外派遣勤務者の配偶者に関する調査」 ……………	227
統計表 ……………	231